

## 社内に根付いた、仕事と家庭生活の両立支援

中西印刷は、江戸時代末期の木版印刷時代から続く、歴史ある印刷会社。「印刷を通じた文化学術の貢献」を社是と掲げる同社の大橋千賀子部長、石田恵美課長に話を聞きました。

中西印刷株式会社

設立 1953年(昭和28年)12月16日  
資本金 2,000万円  
代表者 代表取締役社長 中西隆太郎  
社員数 79名  
本社 〒602-8048  
京都市上京区下立売通小川  
東入る西大路町146  
<http://www.pacos.com/>



柔軟な体制を持つた企業  
中西印刷は、一般印刷、学術書の  
中西印刷は、一般印刷、学術書の

管理職なりの苦労も色々…  
それでも楽しい職場づくりを  
です。

女性が働きやすい環境には  
周囲の理解が必要  
きと仕事をしていきます。

技術革新に伴い、印刷業界は木版印刷から活版印刷、そして現在の電算写植へと時代ごとに大きな変革を遂げてきました。中西印刷がそんな流れに柔軟に対応できたのは、先進的な考え方を持っていたからにほかなりません。それは印刷という技術面だけではなく、社員が働く環境づくりにも当てはまります。

活版印刷時代は力仕事が多く職場は男性中心でしたが、電算写植に時代が替わると、女性の活躍が目立ちます。中西印刷では、女性社員が主導権を握り、重要な役割を果たしています。また、多様な人材育成にも力を入れ、男女ともに成長の機会が広がっています。今後も、技術革新や社会変化に対応しつづけ、さらなる躍進を目指す姿勢が印象的でした。

は移り、「アパート管理の印刷が行われるようになると、女性の活躍の場が広がり、中西印刷では女性の採用が活発になりました。総務部長の大橋千賀子さんは、中西印刷初の女性管理職。課長職を経て部長となり、現在は社内中の人々から大変頼りにされています。

「管理職を引き受けてくれる女性が多くはないのが現実です。大変なことが多い」と思いますが、石田さんのように積極的に管理職の業務をこなす女性が増えて欲しいですね」と言う大橋さん。それに応えるよう「アド」石田さんは編集校正課で後輩をリードしていく。

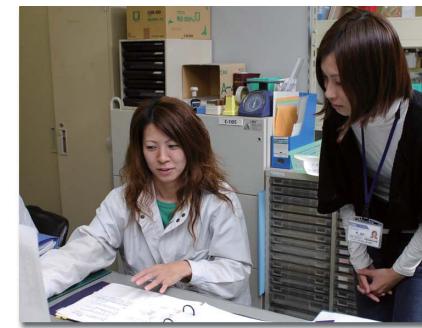
「社内に根付いた、仕事と家庭生活の両立支援。中西印刷では、社員一人ひとりがその能力や経験を最大限に生かし、いきいきと働いています。」と石田さん。

書の制作に携わる編集者。課長職に就いてからは、通常の業務に加え管理職としての業務もこなしてます。『管理職においてからは、部署内の仕事の調整や他部署とのやりとり、会議など、さまざまな仕事が増えました。それまで課長補佐をしていたので、管理職の仕事内容について多少認識やノウハウはあったものの、いざやってみると、なかなか大変で……。けれど、社員の残業時間やストレッサーを減らして、働きやすい環境をつくれるよう取り組んでいます』社員の残業や休日出勤を監督するため、時には自分の時間が削られることがある管理職。『仕事の時間は増えてますが、休む時は休む』—そうしてストレスを溜めないようにしています』石田さんの言葉に大橋

成19年5月に導入された「短時間勤務従業員制度」では1日当たりの勤務時間を短縮するか週5日の出勤を4日にするかのどちらかを選ぶことができます。また、残業時間の上限を自己申告する制度や、ノーギャラリーなど数々の取組も行われています。

「結婚・出産を理由に退職する社員は少なくなりつつあります」と言う大橋さんと石田さん。それには会社の制度だけでなく、周囲の理解も不可欠です。私の部署では現在、1名が育児休暇中、1名が産休予定、そしてもうすぐ男性社員1名が育児休暇を取ってしまうと、その調整は大変。けれど周囲の理解があるため、残った社員が協力して業務分担を行っています。復帰

性別にかかわらず仕事に集中できる  
環境が整った会社です



最後に『ああ、働いていて  
良かったな』と思えるような  
仕事をしたい

A portrait of a woman with short brown hair, wearing a dark denim jacket over a light-colored top. She is sitting in front of a bookshelf filled with books. The lighting is soft, and she is looking slightly to the right of the camera.

あなたの会社も「男女共同参  
詳しくはP.9をご覧ください。

あなたの会社も「男女共同参画推進宣言」してみませんか？